



知の宝庫 図書館

01

日本一の大学図書館と自負している

慶應義塾大学メディアセンター所長（法学部教授）

あかぎ かんじ
赤木 完爾

塾生の皆さんは、他大学の図書館と比較する機会はないと思いますが、慶應義塾大学メディアセンターは、日本一の大学図書館であると胸を張って言えます。

蔵書は約500万冊。三田・日吉・湘南藤沢を中心に圧倒的な人文・社会科学系の書籍があり、また総合大学にふさわしく、矢上では理工学系、信濃

町では医学系、芝共立では薬学系の専門書が充実しています。急速に進む電子化にも対応し、電子書籍は約30万冊、電子雑誌は約10万タイトルがそろっています。

そして、最大の特徴は使いやすい図書館であること。義塾が所有する蔵書等を検索できるKOSMOSには、パソコンやスマートフォンからもアクセ



慶應義塾には6キャンパスにそれぞれ特徴的なメディアセンター（図書館）がある。蔵書数やその充実した環境は、国内最高レベル。この「知の宝庫」を楽しみ、使いこなしてこそ、学生生活が充実する。



スできます。各キャンパス間には配送便を運行しているので、他キャンパスにある本も、ほとんどの場合翌日には自分が指定したキャンパスで受け取れるほか、早稲田大学との協定により、同大学の図書館の蔵書も取り寄せることができます。

もうひとつ、皆さんに情報を提供するレファレンス能力の高さも義塾ならではです。調べたいことを伝えと、一騎当千の専門職員が資料や情報を提供してくれます。調べたいことを絞り込んで、具体的な問いを持って尋ねると、よりの

確な内容の濃い情報を得ることが出来ます。また日吉や湘南藤沢の新生生には、義塾の「半学半教」の精神に基づいた、学部生や大学院生による学習サポート制度が心強い味方になってくれます。大学生にふさわしい資料の調べ方、レポートの書き方など、まずは気軽に先輩に相談してみても良いでしょう。

さて、集中して学習ができるスペースとしての機能も、図書館には重要です。私も学生時代には試験前などに、図書館にこもった思い出があります。現在の図書館は、静かで空調も完備さ

れ、当時よりはるかに学習環境が整っています。またグループ学習のためのスペースも年々充実しています。

メディアセンターの役割は、資料や情報、場所を提供することで、教員による教室での学びをさらに広く深い学びにつなげることです。よりよい図書館を目指す職員たちの意識は高く、常に最高の図書館を目指しています。

新生生諸君は、まず気軽に訪れ、ぶらぶらと書棚巡りをしてください。知の宝庫には、きっと素晴らしい出会いが待っているに違いありません。

02

日吉メディアセンター

情報リテラシー教育に積極的に取り組む

大型船をモチーフにした日吉メディアセンターを設計したのは、日本を代

表する建築家の横文彦氏。蔵書は学習のための専門書だけでなく、1、2年生の利用が多いことを考慮して一般教養書も豊富です。

しかし、蔵書だけが大学の図書館の価値ではありません。新生生が、高校とは大きく異なる大学での学びにスムーズに取り組めるようにサポートするのもメディアセンターの大きな役割。そのために力を入れているのが、情報リテラシー教育です。

情報リテラシーとは、問題解決を行うために必要な情報を明確にし、効率的・効果的に探し出し、分析・評価を行い、正しく活用して発信する能力のことです。たとえばレポートを書くときに、インターネットで安直に手に入れた情報を羅列しては、優れたレポートにはなりません。価値ある情報を的確にレポートに用いるには、この能力が不可欠なのです。

情報リテラシーは、学年が上がるに



ツイッター

https://twitter.com/hysmedia_keio

つれてより重要になり、社会に出てからも仕事や生活上の問題を解決するための大きな力になります。日吉図書館は、その基礎をつくるために、学部などの依頼により情報リテラシー講座を開いています。またWebサイトでは

そのテキストを読むことができるので、新入生はぜひ確認してください。図書館の使い方もわかりやすく示されています。そしてもっと聞きたいことがあれば、1階のスタディサポートへ。どんな資料や情報を求めているのかを

伝えると、図書館スタッフが丁寧に教えてくれますし、先輩や大学院生が学習相談員として待機していて、レポートの書き方をはじめ、いろいろな勉強の悩みごとの相談に乗ってくれます。

03

湘南藤沢メディアセンター

問題発見・問題解決をコンセプトに多彩なサービスを提供

湘南藤沢（SFC）メディアセンターは、問題発見・問題解決を特徴とし、

習に役立つDVDなどが備えられています。

領域横断型の学びを実践するキャンパスにふさわしく、情報科学、社会科学、自然科学、外国語など多岐にわたる書籍・資料を収集しています。また、看護医療学部校舎2階にある看護医療学図書室には、看護・医療・健康科学を中心とする資料や実習科目の予習・復

メディアセンター1階にはSFCならではの「ファブスペース」が設けられています。3Dプリンタ、3Dスキャナ、レーザーカッターなどを使って、自分の好きなテーマでデジタルなモノ作りを実践することができます。

タジオや機材の扱い方、編集を学ぶことができます。さらに、新入生にスムーズにメディアセンターに親しんでもらうため、毎年4月にクイズ形式の館内巡りオリエンテーリング企画「メディア内でカモを探そう!」を開催。新入生はぜひ参加してください。



ツイッター

https://twitter.com/sfc_mediacenter

設置。ヒトやモノの動きを3次元のデジタルデータでとらえる光学式モーションキャプチャシステムが備えられています。カメラなどの撮影機材はAVカウンターで借りることができる。初心者でも利用できる。メディアセンター主催のAV講習会が開催され、ス

大学での学びで、高校と大きく違うのは提出レポートが多いこと。レポートの書き方がわからないと悩む新入生にとって頼りになるのが、2階イベントスペースに窓口のあるライティング&リサーチコンサルタントです。博士課程の大学院生が、テーマの設定、文献・資料の探し方などのアドバイスをしてくれます。

◎三田メディアセンター

三田キャンパスには、図書館新館、旧館、南館図書室の3つの図書館があり、人文・社会科学分野を中心とした多彩な専門書が充実しています。ゼミや授業単位の要望に応じて、文献探索ツアー、データベース体験講座、引用・参考文献の基礎講座の3つのライブラリー・オリエンテーションを実施しています。



◎信濃町メディアセンター（北里記念医学図書館）

初代医学部長の北里柴三郎博士の遺志を汲んで「北里記念医学図書館」として1937年に設立されました。信濃町メディアセンターは医学分野の専門図書館として、充実した蔵書と電子資料を提供しており、世界最先端の医学文献を入手できます。データベースのセミナーなども随時開催しています。



◎理工学メディアセンター（松下記念図書館）

矢上キャンパス

理工学分野の専門図書館として国内有数の規模を誇り、学外の研究者にも広く公開しています。グローバルな研究に対応して電子資料も充実しています。夜間や日曜日にも利用可能な自習室、壁全体がホワイトボードのグループ学習室があります。大学院生から学習・研究に関するアドバイスが受けられるラーニングサポートも実施しています。



◎薬学メディアセンター

芝共立キャンパス

義塾と合併する前の共立薬科大学、そのさらに前身である専門学校時代の1932年から収集された、薬学を中心とする医学・化学・生物学などの蔵書が充実しています。芝共立キャンパス3号館3階に書架、閲覧室、グループ学習室、PCエリアがあり、4階の書庫には電動式書架が設置されています。館内は熱心に学習する学生の姿が絶えません。





慶應義塾大学メディアセンター（図書館）

URL <http://www.lib.keio.ac.jp/jp/>

調べる・探す

KOSMOS

KOSMOS (KeiO university System for Multimedia Online Services) は慶應義塾大学の各メディアセンターが所蔵する資料の総目録。図書、雑誌、CDやDVD等の音声・映像資料、電子ブック、電子ジャーナル、和装本、貴重書などが検索できます。KOSMOSにログインすると、資料の予約／取寄せ、返却期限の更新（延長）、貸出状況の確認などのサービスが利用できます。

メディアセンターではWeb上で読める雑誌や図書を契約しています。本文をPDFファイルやHTMLテキストなどで見られるほか、全文検索ができるものもあります。

電子ブック

電子ブックのみ指定して検索する場合は、KOSMOSで資料種別を「図書」に指定して検索したあと、「次の条件のものだけを表示」から「オンライン」をクリックしてください。

電子ジャーナル

電子ジャーナルのみ指定して検索する場合は、KOSMOSで「電子ジャーナル」のタブを選択してください。

慶應義塾大学学術情報リポジトリ (KOARA)

KOARA (KeiO Associated Repository of Academic resources) は、慶應義塾大学の学術成果、教育研究用資料等の検索と閲覧が可能です。

■質問のすゝめ! (オンラインレファレンス)

必要な情報や文献が見つからない、また探し方がわからないなど、さまざまな調査・質問をオンラインで24時間受け付けています。

<https://online.lib.keio.ac.jp/susume/index.php>

膨大な蔵書や電子資料も、使い方や調べ方に習熟しなければ、宝の持ち腐れになりかねません。文献を探すときは、図書館に行かなくても、Webサイトから蔵書を検索す

ることが出来ます。各メディアセンターでは、レファレンスで資料検索をサポートするほか、先輩や大学院生による、レポートのテーマの決め方、書き方の相談も行っています。

調べもの、レポートの書き方に困ったときは、窓口で気軽に聞こう!



学習相談員(日吉)



法学部政治学科4年
保泉 空君
ほいずみ そら

「友達へ勉強の相談をするのは気恥ずかしいし、先生に質問するのは気がひける」。そういった中で、学習上の不安一つ一つを引き受けています。学部生同士だからこそ、気軽な形で相談できるのが私たちの活動の強みです。私は相談を受ける際には「傾聴」を心がけており、対話を通じて相談者の不安を受け止め、問題を一緒に考えて考えるようにしています。相談者の表情が晴れやかになったとき、活動のやりがいを感じます。

ライティング&リサーチコンサルタント(SFC)

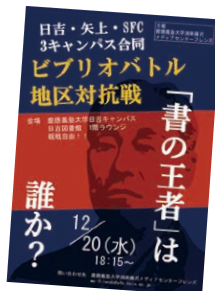


政策・メディア研究科
後期博士課程3年
森 将輝君
もり よしあき

主にレポートの書き方、調査の方法、研究テーマの設定などの相談を受けています。授業課題や卒業研究に本格的に取り組む際、相談相手が見つからずに悩むことが多いのではないのでしょうか。そこで、現役大学生よりも少しだけ先に大学を卒業した私たち博士課程の学生が、このような役割を担っています。相談を受ける中で実践の知を磨きながら、塾生が気軽に立ち寄り相談できる場を作っていきたいと思っています。



者は、これまで知らなかった分野の本、読んだことのなかった著者の本を、バトラーの熱い思いとともに知ることになり、読書への新しい興味が広がります。



ビブリオバトル

日吉、湘南藤沢、矢上キャンパスで開催される「いち推し本紹介」のイベント。発表者（バトラー）が読んで面白く感じた本を、決められた時間内に紹介し、本の魅力を参加者と共有しながら、一番読みたくなった本を投票で選びます。会場は読書のイベントらしく、知的興奮につつまれます。参加



1455年頃にグーテンベルクが初めて活版で印刷した聖書をはじめ、慶應義塾は日本、中国、西洋の貴重書1万点余りを所有しています。それらは外部の展示会などで公開されることもあります。また、1階の展示室では本に限らずさまざまな興味深いテーマのもと、多様な企画展が随時開催されています。1~2月には「日吉と矢上の考古学―縄文土器から焼夷弾まで」を実施。3月19日~5月16日までは「ミニチュア・ブックの世界」展を開催中です。ぜひ足を運んでみてください。

三田メディアセンター展示室



本の福袋

デパートの初売りの福袋のスタイルを借り、図書館スタッフや有志が推薦する本を袋詰めにした「本の福袋」が好評です。湘南藤沢メディアセンターと理工学メディアセンターで行われており、本は袋ごとに個性豊かなテーマに沿って選ばれています。本のタイトルは開けてからのお楽しみ。袋からどんな本が現れるのか？そして、その本たちはどんな「福」をもたらしてくれるのか？新しい読書の扉を開くきっかけになる楽しい企画です。